



HPはこちら

新幹線における保線業務及び組織の見直しについて 6月7日、新幹線統括本部より提案を受ける

【施策の目的】

- ・ポストコロナの経営環境においても新幹線の安全・安定輸送は極めて重要である。
- ・急激な環境の変化に柔軟に対応し、生産性及び働きがいの向上を図る。

【実施事項】

○検査体系の変更（業務の見直し）

- ・新幹線線路設備モニタリング車を導入し、新たな検査体系を構築する。
- ・新幹線車両センター内で移管している業務を拡大する。

○メンテナンス体制の変更（組織の見直し）

- ・線路科及び技術支援担当の業務と計画科の一部業務を統合して、メンテナンスグループを設置する。
- ・企画安全科の業務と計画科の一部業務を統合して、企画安全グループを設置する。
- ・大宮新幹線保線技術センターに一部企画業務等を集約し、新幹線保線設備技術センターへ改組する。
- ・青森新幹線保線技術センターを設置し、八戸新幹線保線技術センターを派出とする。
- ・派出の配置を見直す。

【実施箇所】

- ・各新幹線保線技術センター

【実施時期】

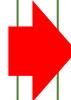
- ・2024年4月以降



【派出の見直し】

見直し前

大宮新幹線保線技術センター	東京新幹線 レール オフィス
宇都宮新幹線保線技術センター	
郡山新幹線保線技術センター	
仙台新幹線保線技術センター	
北上新幹線保線技術センター	
八戸新幹線保線技術センター	青森派出
高崎新幹線保線技術センター	
新潟新幹線保線技術センター	長岡派出
長野新幹線保線技術センター	



見直し後

※派出名は仮称

新幹線保線設備技術センター	上野派出
宇都宮新幹線保線技術センター	那須塩原派出
郡山新幹線保線技術センター	
仙台新幹線保線技術センター	
北上新幹線保線技術センター	盛岡派出
青森 新幹線保線技術センター	八戸派出
高崎新幹線保線技術センター	
新潟新幹線保線技術センター	長岡派出
長野新幹線保線技術センター	軽井沢派出